

学生地元定着へ 合同就職説明会

八学大・短大

来春に卒業を控える学生の地元定着を図ろうと、八戸学院大と八戸学院短大は14日、学内で青森県内の企業を集めた合同説明会を開いた。就職活動中の学生52人が参加。8社のブースを回り、業務内容などの説明を受けた。前年の同時期より学生、企業とも少なく、就活が短期決戦となっている影響をうかがわせた。

大卒の就活を巡っては選考開始が2カ月前倒しの6月に変更となった。前年の



企業の担当者から説明を受ける学生。14日、八戸市の八戸学院大

説明会には学生約70人、県内外の52社が参加。今回は

就活日程の変更を踏まえ、企業の参集範囲を見直した。この日の説明会には、県内に事業所を置く自動車販

売や証券会社、スーパーなどの担当者が集まった。既に1社から内定を受けているというビジネス学科4年の小山祐太郎さん(21)

は「県内が第一希望。これから試験を行うところもあり、地元企業を幅広く見られる機会があった」と話していた。(金澤一能)